

沼田市の農業を成長産業にするために

桑原 敏彦

Q人手不足の農業と異業種企業
の連携について伺います。

A農業従事者の高齢化や農業の担い手の減少による人手不足が進む中で、異業種企業との連携による農業機材のオペレーターや農作業の手助けを行う人材派遣等におけるマンパワーの充実が、農業生産性の向上、地域の農業の推進を図るうえで有効な手段であると考えています。

Qスマート農業の推進について伺います。

AGPS等をはじめとするICT技術を活用した新技術については、農業の人手不足に対応し、農作業の効率化や生産性の向上につながり、地域農業の推進を図るうえで有効な手段であると考えています。ICTを活用したスマート農業は、現在、全国各地で実施され、その事例が報告されている状況であり、本市においても、その状況を注視し、生産性の向上を目的とする新技術の活用を農業経営者と情報共

有を図りながら進めたいと考えています。

Q体験型農業を取り入れたビジネス推進について伺います。

A国の施策として農泊推進対策を進めているところで、本市としても、現在、薄根地域で進められている棚田等の地域資源の有効な利活用への取り組みに対し、地域の方々との連携を図りながら進めたいと考えています。

Q耕作放棄地を活用した観光農園の拡充について伺います。

A耕作放棄地の対策については、農地利用状況調査等により現状確認を行っていることから、耕作放棄地の解消、担い手農家への農地集積等の農地利用の最適化に向けて、農業委員会をはじめ、農地所有者や認定農業者とも連携を図りながら進めたいと考えています。

